

自己評価・外部評価・運営推進会議活用ツール

No.	タイトル	評価項目	自己評価	記述	運営推進会議で話しあった内容	外部評価	記述
I. 理念・安心と安全に基づく運営							
1	理念の共有と実践	地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	事業所内の掲示に加え、理念・ビジョンが記載された「友愛会ハンドブック」が全職員に配布されており、常に思いを共有しながら業務にあたっている			
2	事業所と地域とのつきあい	事業所は、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、認知症の人の理解や支援の方法などを共有し、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	自治会に加入し地域の状況把握に努めたが、コロナ禍で今年度も交流の機会の確保が困難であった。散歩時住民の方とお会いすれば挨拶等は行っている	同じコロナ禍でも状況は少しずつ変化してきています。小さなことでも出来ることを少しずつ行なっていくと言う意識で取り組みを考えていけると良いのではないだろうか		利用者がどのように地域と繋がりをしながら暮らして行けるのか、まずは出来ていることを継続していくべきである
3	運営推進会議を活かした取り組み	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	今年もコロナ感染拡大予防のため運営推進会議は書面で実施し、取組み状況の報告をし、意見や助言を運営に反映させている	上記同様に、小さなことでも改善に向けた取り組みをしていけると良いと思います		今後も皆様からの意見や助言を反映させ、地域に根付いた事業所を目指すべきである
4	市町村との連携	市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	サービスの取組みは運営推進会議の報告にて行っている。また、コロナ、事故発生時には速やかに連絡、所定様式にて報告書を提出している	行政と顔の見える関係作りも良好なサービス提供を行い続ける上で必要なことと思います		
5	身体拘束をしないケアの実践	代表者および全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人内に「身体拘束廃止委員会」があり、具体的な行為は正しく理解できている、又、定期的に研修を実施し、身体拘束のない事業所づくりに努めている		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
6	虐待の防止の徹底	管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	研修会で虐待について学び、虐待防止に取り組んでいる。又、他事業所の発生事例を共有し、同じ事が発生しないよう相互注意が出来る職場作りに努めている		A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	気づかないうちに虐待になっている事もあり、今後も研修会で繰り返し学んでいく必要がある

7	権利擁護に関する制度の理解と活用	管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	権利擁護に関する制度について、全ての職員が周知しているとは言い難い現状である			
8	契約に関する説明と納得	契約の締結、解約また改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所契約時には、重要事項説明書、契約内容について詳細に説明をして不安や疑問点の聞き取りを行っている。			
9	運営に関する利用者、家族等意見の反映	利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	面会時に家族に意見を聴取、または運営推進会議の聞き取りのみである。今年度は家族様にアンケートの実施予定である	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	アンケート以外で意見、要望を聞ける機会を設けるべきである	
10	運営に関する職員意見の反映	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	代表者は定期的に事業所を訪問し、職員の意見を聞く機会を設けている。又、毎月開催する全体会議において職員から提案をもらい、運営に反映している			
11	就業環境の整備	代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の日々の勤労状況については業績評価シートを元に面談をして、適正に処遇に反映されるようにしている。又、目標管理シートにて個々に目標を設定し、向上心を持って働けるよう職場環境の整備に努めている	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
12	職員を育てる取り組み	代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	法人では、階層別に研修を年間通じて行っている。又、部門・部署においては、年間の研修計画に沿って実施している。外部研修への参加も奨励している	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない		
13	同業者との交流を通じた向上	代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <u>ほとんどできていない</u>	コロナ禍で「サービス事業所ネットワーク会議」の開催がされず交流の機会が制限されている			

14	本人と共に過ごし支えあう関係	職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の出来る事の把握に努め、日常生活において役割をもつていただき、一緒に行う事で暮らしを共にするもの同士の関係を築いている			
15	馴染みの人や場所との関係継続の支援	本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	コロナ禍でも馴染みの人との関係が途切れないように、感染状況に応じて面会をいただいている。場所の対応については模索している	外出については職員の体制もあるので難しいと思いますが、人混みを避ける形で行えるようであれば実現できると良いと思います		コロナ禍の状況に応じ順応に対応すべきである
II. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
16	思いや意向の把握	一人ひとりの思いや暮らし方、生活環境、一日の過ごし方の希望や意向の把握に努めている。	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活から、利用者様の声を聞き、どのような生活を望まれているのかを伺い、アセスメントを行いケアプラン作成しケアを行っている			
17	チームでつくる介護計画とモニタリング	本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日常生活から、利用者様の声を聞き、どのような生活を望まれているのかを伺い、アセスメントを行いケアプラン作成しケアを行っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	必要な関係者との話し合いの場を、どのような形ならできるのかが課題である
18	個別の記録と実践への反映	日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	毎日のケース記録の記入について、ケアプランに沿った内容で記入する意識が未だ低い。情報共有については、申し送りノートを活用しながら実行できている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	
19	一人ひとりを支えるための事業所の多機能化	本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	日々のケアの中で、本人や、家族の要望に耳を傾け、聞き取る姿勢は持っているが、既存の施設サービスの枠組みの範囲内であり、柔軟な支援が出来ていない	日常の中での決まったルーティン業務以外の関わりができるようになると良いと思います		
20	地域資源との協働	一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	月に1回のOneぱくキッチンの活動拠点として、地域の皆様に参加や、施設のPRをさせて頂いているが、そこに利用者を十分に結び付けられていない。他の社会資源の活用も少ない	様々な制約がある中で、取り組みができては素晴らしいと思います		今後も地域資源の把握に努め、安全で豊かな暮らしが楽しむことができるよう支援を行うべきだ

21	かかりつけ医の受診支援	受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入所時にかかりつけ医を確認し、本人・家族が施設生活で不安なく過ごしていただけるよう、連携ができている。必要に応じてご家族様にお体の状態を説明し、受診の必要性などお伝えしている			
22	入退院時の医療機関との協働	利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	入院後に、病院からの状況報告や退院相談について、管理者を中心とし早期退院を目指し実施しているが、病院関係者との日常的な関係づくりは不十分である		A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	
23	重度化や終末期に向けた方針の共有と支援	重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	重度化した場合について、こちらで出来る事を家族へ説明し、その状態で施設生活を継続する事のリスクも、併せてお話ししている。法人内の施設と連携し、その方の状態に応じた対応をしている		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
24	急変や事故発生時の備え	利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	急変時や事故対応について各マニュアルを作成し、マニュアルに沿って対応するよう周知している。応急処置や初期対応の訓練は、定期的実施できていない			
25	災害対策	火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	防火再訓練など定期的実施し、職員の実践力や意識を高め、習熟度も上げている。具体的な地域との協力体制、連携に不十分な部分がある		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	地域との具体的な協力体制、連携などが課題である

Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

26	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保	一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	日々の生活の中で、本人の希望に沿う事を心掛け、これまでの生活歴を把握し、尊厳・自尊心に配慮したケアの実践が出来るよう、定期的な勉強会を開催しながら努めている		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
27	日々のその人らしい暮らし	職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの日常生活における希望や意向、暮らしのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員の都合で利用者様のケアを行っている姿が時折みられる。生活の中で利用者様に同意を得て、役割活動等の実施ができている			

28	食事を楽しむことのできる支援	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事準備の段階から、野菜のカットや盛り付けについて、できることをお願いし、取り組んでいる。手作りおやつ等、利用者と共に材料を準備し、作るまで楽しみながら実施できている。		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
29	栄養摂取や水分確保の支援	食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食事、水分摂取量が足りているか、職員同士で把握し、足りていない部分については、お声掛けや、介助に入らせて頂くなど、1人1人の状態に応じた対応をしている。法人の栄養会議にて、専門的な意見を取り入れる連携等を実施している			
30	口腔内の清潔保持	口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	食後の口腔ケアのお声掛けは必ず行っている。自身で歯磨きをされる利用者に関しては、口腔内の状態把握や対策が不十分である		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	毎月歯科医師等に口腔ケアについて指導をいただいているが、指導内容の周知に努めるべきである
31	排泄の自立支援	排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援、便秘の予防等、個々に応じた予防に取り組んでいる	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の希望、排泄動作に関係する身体機能の確認等、多職種を交え職員間で検討し、事故に気を付けながら排泄自立支援をしている。便秘時の対応について、主治医と確認出来ている		A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
32	入浴を楽しむことのできる支援	一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	入浴を好まれない方について、その時の表情や気分をみて、適切なタイミングで入浴のお誘いをしている。また、体調に応じて湯船につかるか、シャワー浴にするか、本人へ伺いながら対応している			
33	安眠や休息の支援	一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	A. 充分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	昼夜の様子を日々申し送りし、夜間不眠であった方には、昼間の時間に少し休まれたらどうか、お声かけを行っている。臀部の状態が悪い方についても、時間を決め休んで頂く時間を設けている			

34	服薬支援	一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	内服薬による副作用、体調や生活リズムの変化に対しては、スタッフ間で情報共有をしている。服薬方法を統一し、シートを作成して、服薬に関する事故を予防している		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
35	役割、楽しみごとの支援	張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の趣味や出来る事を把握し、施設内の家事(洗濯たたみ、洗濯干し、食事の準備、後片付け)や、施設の畑での野菜栽培の手伝い等を、ケアプラン等に盛り込み、役割活動や、楽しみの機会を提供している	介護予防・自立支援の意識の中で、様々な取り組みを利用者様ごとにされている事がよくわかりました		
36	日常的な外出支援	一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	天気の良い日には、施設周辺のお散歩へお誘いし、気分転換をして頂いた。コロナ禍であり、本人の望まれる所へお連れすることはできなかった。徐々に規制が緩和されているので、利用者が望まれる外出支援に努める	外出支援については、職員の体制もあるので難しいと思いますが、人混みを避ける形であれば行えると思いますので実現していけると良いですね		コロナ禍で出来ることを、出来る範囲で検討・実施すべきである
37	お金の所持や使うことの支援	職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. <u>ほとんどできていない</u>	現在は、施設内にてお金を使用する機会がほぼ無く、現金を所持する利用者はみえないが、今後入所時に利用者に現金を持ってほしいか等の、希望を伺い対応を検討していく			
38	電話や手紙の支援	家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	A. <u>十分にできている</u> B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者から家族とお話したいなど要望があった時は、家族へ経緯を説明し、本人とお話できる環境を提供している。職員から家族へ月に1回、本人の様子と写真を、お便りとして発送している			
39	居心地のよい共用空間づくり	建物内部は一人ひとりの身体機能やわかる力を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。共用の空間が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、一人ひとりが居心地よく過ごせるような工夫をしている	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活において、独歩、歩行器、車椅子使用の利用者の、個々の力が十分に活かされ、安全な動線を確認している。座席については、利用者同士の関係性を考慮し、机の配置、数についても配慮している		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	

IV. 本人暮らしの状況把握・確認項目(利用者一人ひとりの確認項目)

40		本人は、自分の思い、願い、日々の暮らし方の意向に沿った暮らしができています	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活において、独歩、歩行器、車椅子利用の利用者の、個々の力が十分に活かされ、安全な動線を確認している。座席については、利用者同士の関係性を考慮し、机の配置、数についても配慮している			
41	本人主体の暮らし	本人は、自分の生活歴や友人関係、暮らしの習慣、特徴など様々な情報をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントシートの情報や、本人、家族から伺った内容をもとに、本人が今まで生活していた暮らしが継続できるよう支援している			
42		本人は、自分の健康面・医療面・安全面・環境面について、日々の状況をもとに、ケア・支援を受けることができています	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	アセスメントシートの情報や、本人、家族から伺った内容をもとに、本人が今まで生活していた暮らしが継続できるよう支援している		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
43		本人は、自分のペースで、これまでの暮らしの習慣にあった生活ができています	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	可能な限り、自宅生活に行っていた家事や趣味が、本人の能力に応じて入所後も継続できるよう、ケアプランに反映するよう努めている。新たな趣味や、役割の発見にも、本人に無理のないように勧めている			
44	生活の継続性	本人は、自分のなじみのものや、大切にしているものを、身近(自室等)に持つことができています	A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人の思い出を想起させ、居心地が良くなるような物を、居室に置いて頂く事に努めている。お持ち頂く物が、転倒等に繋がる物でないかも注意している		A. 十分にできている B. <u>ほぼできている</u> C. あまりできていない D. ほとんどできていない	
45		本人は、自分の意向、希望によって、戸外に出かけることや、催(祭)事に参加することができています	A. 十分にできている B. ほぼできている C. <u>あまりできていない</u> D. ほとんどできていない	行事について、毎年決められた内容となっている為、個々の意向に沿った内容にはなっていない。散歩に行きたい等の要望については、応えられている	ご本人様の意向を100%実現することは難しいと思いますが、まずは意向をしっかりと把握して、ご本人様の思いに寄り添えると良いと思います		ご本人様の意向に寄り添えるように、意向の把握に努めるべきである

46		本人は、自分ができること・できないこと、わかること・わからないことを踏まえた、役割や、楽しみごとを行うことができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	本人に聞き取りをし、主治医やリハビリ職員と情報共有して、本人の能力を把握した上で、本人に合った生活目標や役割活動、楽しみを、本人、家族と相談しケアプランに反映させている			
47	本人が持つ力の活用	本人は、自分がいきいきと過ごす会話のひと時や、活動場面を日々の暮らしの中で得ることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	利用者の笑顔や、充実感を引き出す声掛けやケアの実施、行事や手作りおやつイベント等、いきいきと過ごせる環境づくりを、利用者に意見や感想を聞き取りながら行っている		A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	いきいきと過ごせる環境作りのために、今後も利用者の意見や感想を聞き、活動場面の継続に努めるべきである
48		本人は、自分なりに近隣や地域の人々と関わったり、交流することができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	施設周辺の散歩や、近隣喫茶店へ行く際等、地域住民の方との交流機会が限定されている。One ぱくキッチン等の機会を利用した交流や、地域のイベントへの参加を、感染対策を徹底し実施していく事が課題			どのような形なら近隣や地域の方々と交流する事ができるのか検討するべきである
49	総合	本人は、この GH にいることで、職員や地域の人々と親しみ、安心の日々、よりよい日々をおくることができている	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	生活の中で、ご利用者同士や、職員と会話をする中で、安心できる人と場所であることを理解され、生活されている。地域の方との交流はできていない	常に自分が利用者の立場だったら、自分の親が利用者だったらと言う視点でケアが出来ると、利用者への対応の質も良くなっていくと思います	A. 十分にできている B. ほぼできている C. あまりできていない D. ほとんどできていない	職員間、多職種との連携を深めながら安心して、より良い日々を送る事ができるようにこれからも支援していきます。今後コロナに対する対応が変わる中で、ご家族様、地域の方々とのように関わっていくのが課題である

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	コロナ禍で運営推進会議は書面对応になっているため、地域からの生の声は聞けていない。状況は少しずつ変化してきているため、話し合いの中で地域の人々から意見が伺える環境を整えるのが課題である。	2ヶ月に1回行われる運営推進会議で、地域住民の方々から生の声を聴く事ができる	感染対策を十分に行なった上で、対面で運営推進会議の開催を行い、いただいた意見、要望を運営に反映させる	12ヶ月
2	45	コロナ禍において規制、自粛の生活を送っていた事で、生活の楽しみも軽減されている。コロナ禍でも出来る事を検討し、その実現に向けて取り組んでいく必要がある。	本人の意向、希望に寄り添える生活を送る事ができる	本人の意向、希望をヒアリングし、それに添った行事内容を企画し実施する	12ヶ月
3					12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。